

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル				公表日	令和8年 2月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適正人員配置であるが、療育内容の質の向上のため、専門職を配置しております	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化やわかりやすい環境になっています。	バリアフリーではあるが、今後手すりや緊急時のAEDの設置も検討していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		のびのびと子供達が過ごせる環境に配慮しています。また、全員を見渡せるフロアになっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の内容を職員で確認し、サービスの向上につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		SNSにて公開し、サービス向上につなげていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状外部評価は行っていませんが、今後、施設見学等含めて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画を策定し、毎月職場内研修を実施しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画書作成に当たり、職員会議で情報を共有し、話し合い、いろんな視点から分析するようにしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとに毎日の活動内容を作成し、季節や行事を盛り込んだ活動を行うようになっています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		レセプト記録に裏面に、気づき等を記載し、支援に繋げるようになっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	関係機関との連携を図り、支援につなげるようになっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		関係機関との連携を図り、支援に繋げるようになっています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		コロナ感染防止の為、控えていたが、今後は外部との交流の機会を進めていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やライン等を活用し、保護者と子供の状況を共有するようになっています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		相談があれば対応していますが、こちらからも働きかけるようになっています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		コロナ感染防止の為、控えていたが、今後は保護者の要望に応じて、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの連絡をいつでも受けられるようにラインを活用しており、保護者からの相談内容を迅速に職員間で共有し、対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSにて活動の様子を保護者に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		外部講師を招いた研修会を行う際には地域住民を招待しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員へは研修時に、保護者へは契約時に周知するようにしています。	SNSで発信するなど保護者への周知を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2かの訓練を実施しています。	SNSで、訓練の様子を発信していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者からの聞き取りによって対応しています。	必要に応じて、医師の指示書入手し、対応するようにします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		会議を開催し、ヒヤリハット事例を共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員のストレスチェックを実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル

公表日 令和8年 2月 26日

利用児童数 6

回収数 6

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	2	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	2	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	3	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1	0	1		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 21日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童様の小さな成長を丁寧に見守りながら、安心して過ごせる環境づくりに力を入れています。児童様が安心して自分らしく過ごせる温かい環境です。安全面への配慮を徹底しながら、楽しく学び成長できる活動を提供しています。保護者様との信頼関係を大切にしている点も大きな強みです。	日々の活動のなかに目的を持たせ、あそびや学習を通して出来た、という成功体験を積み重ねられる環境を整えています。小さな成長も見逃さず、長期的な視点で子どもの可能性を広げています。連携を大切にしており、家庭と学校と事業所が協力しながら、支援出来る体制を整えています。	職員間の情報共有や振り返りを徹底し、支援の質の向上を努めるとともに、子どもたちの自立と社会性の育成を支えています。
2	発達支援の専門知識に基づき、感覚統合やソーシャルスキルトレーニング(SST)の強化習慣を取り入れています。一人ひとりの特性に寄り添った個別支援を大切にしている点です。	個別対応と小集団活動を組み合わせ、社会性、生活スキルの向上を目指しています。活動内容にも多様性を持たせて、マンネリしないように児童様からの実際の活動の要望を聞くなど、興味の幅を広げる内容を実施しています。職員同士が情報共有を徹底し、子ども一人一人に合った支援方法を日々話し合いながら実践しています。	研修にも力をいれて、職員全員で様々な研修に積極的に参加していきたいです。外部からの評価も取り入れていきたいです。外部からの評価を得ることで、支援の見直しが出来たり、支援の質の向上を目指します。
3	事業所が他にもあるため、保護者様のニーズに合った事業所をお選び頂くことも出来ることも大きな強みです。少数では入場が難しい場所などでも、大勢での貸し切りイベントなども可能になります。	事業所間で併用して下さっている児童様の情報共有を行ったり事業所が集まってイベントを開催しています。大勢の児童様が参加されるイベントでは、人前での自己表現のチャンスとなったたり自発的な行動を促しています。普段とは異なる環境や仲間との関わりを通して、社会性やコミュニケーション力を育む機会を大切にしています。	事業所の合同イベントの回数を重ねることで、益々交流が広がりつつあります。これまでのイベント内容を振り返り、良い点は継続し、児童様にとって楽しいイベントとなるよう、新しい企画も検討してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設側が、保護者様との認識の違いに気付いていないことがあると気づきました。	保護者様の就労等により、コミュニケーション不足が要因かと考えています。	支援計画の説明や送迎時の情報共有だけでなく、相談支援を活用して普段話にくい事柄や家族の中の困り事などを、話して場を施設側が積極的に設けていきます。
2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や保護者同士の交流の機会等、ご家族に対する支援が不十分であると気づきました。	保護者様の思いを十分に聴くことが出来ていないことと、ご家族に対する支援の機会等が設けられていなかったことが要因かと考えています。	相談支援を活用し、ご家族の思いを伝えられる体制を整え、またご家族のご要望に応じて、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等の場を設けていきたいと思います。
3			